

平成20年度

研究紀要

第22号

川崎市総合教育センター

はじめに

今日、社会の変化は激しいものがあり、価値観の多様化、国際化、情報化、少子高齢化などが急速に進展し、様々な教育課題が山積しています。このような状況において、子どもたち一人一人に「生きる力」を培っていくことが、これからの教育には一層求められています。

川崎市総合教育センターは、学校教育の内容や教育指導の充実・改善、教職員の資質・指導力の向上、特別支援教育や情報・視聴覚教育、幼児教育の推進、教育相談体制の確立等について、主導的な役割を果たす立場にあり、設立以来多様化した教育諸課題等をふまえ、川崎の教育の創造と発展に資することを目的とした調査研究を行ってまいりました。

今年度も、昨年と同様に研究分野を「政策課題研究」「調査・基礎研究」「実践研究」「外部機関との共同研究」と設定し、実践研究総括主題『一人一人がいきいきと輝く川崎の教育の創造』やキーワードの『自ら学ぶ』・『ともに学ぶ』・『学び続ける』を踏まえ、各室がそれぞれの特性を発揮するとともに、相互の関連を密にしながら調査・研究を進めてまいりました。

ここに、平成20年度に終結した各研究会議の研究内容を、研究紀要第22号としてまとめることができました。この研究紀要が、これからの皆様の授業や研究の充実・改善に役立つことができれば幸いです。忌憚のないご指導並びにご批正を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、それぞれの研究に対しまして、当総合教育センター専門員をはじめ多くの方々からご指導やご助言をいただきました。改めて深く感謝いたしますとともに、それぞれの研究にお力添えをいただきました関係の方々には厚くお礼申し上げます。

2009年3月

川崎市総合教育センター
所 長 竹田 文夫

目 次

研究の基本構想及び取組	1
教育研究所連盟における発表	4
特別な教育的支援が必要な児童生徒が在籍する通常の学級での授業の在り方 ・・・カリキュラムセンター・特別支援教育センター室横断指導主事研究会議	5
不登校未然防止に向けた実践的研究 ・・・教育相談センター指導主事研究会議	15
乳幼児の生活実態と保護者の子育て意識について ・・・幼児教育センター指導主事研究会議	21
教員のICT活用指導力向上のための手立て ・・・情報・視聴覚センター指導主事研究会議	27
根拠を持って表現する力を育てる算数・数学科の授業改善 ・・・算数・数学科研究会議	33
学び合いを通して科学的リテラシーをはぐくむ理科授業 ・・・理科研究会議	49
表現と鑑賞の一体的な指導を通じた授業の在り方 ・・・図画工作・美術科研究会議	65
コミュニケーション能力を高める体育学習の在り方 ・・・体育・保健体育科研究会議	81
生活をよりよくしようとする能力と態度をはぐくむ家庭、技術・家庭科の学習指導 ・・・家庭、技術・家庭科の学習指導	97

自己の生き方を考える探究的な職場体験学習 総合的な学習の時間研究会議	1 1 3
生徒相互の関わり合いを深めるホームルーム活動の指導方法 高校教育研究会議	1 2 9
学校における情報モラル教育の日常化を目指した研究 情報モラル教育研究会議	1 4 5
通常の学級に在籍する特別な教育的ニーズのある児童生徒に対する支援の在り方 特別支援教育研究会議	1 6 1
振り返りシートにおける教育相談的かかわりについての検証 学校教育相談研究会議	1 7 7
P I S A型読解力を育むテキストとは 専門研究員による研究	1 9 3
学校における教育相談の在り方と内容について カウンセラー研究員による研究	1 9 9
自分や自分の生活を見つめ直す機会を設ける健康教育 健康教育研究会議	2 0 5
授業の中で活用できる映像教材の開発 映像制作研究会議	2 1 1

